



発行日：令和6年8月1日 発行：小林コミュニティ協議会 総務部／連絡先：小林地域生活センター TEL.025-372-3033

令和6年度 小林コミ協方針 小林コミュニティ協議会 副会長 青木 智子

小林村作り理念の再確認

14年前から掲げ続けてきました5つの小林村作り理念を地域住民、役員全員で再確認し、さらにこれを高く掲げ、その具現化に全力を挙げます。

- ◆ 豊かで活力のある村、小林
- ◆ 健康で長生きの村、小林
- ◆ お互いに助け合う村、小林
- ◆ 安全で安心な村、小林
- ◆ 文化の香り高い村、小林

- 1 部会を改編します。
 - (1) 安心・安全部の新設：防犯部と交通安全部を合併し「安心・安全部」とします
 - (2) 青少年育成協議会の新設：防犯部から青少年育成協議会の活動を切り離し、独立します
 - (3) 小林新撰組の新設：小林コミ協の活性化の為、老若男女の住民が集う、新たなイベントを創出します
- 2 生活支援活動（お助け隊こばやし）の充実に併せ、令和4年6月に始めた移動支援事業（車両を使った移動支援サービス）は改善すべき点を見直し、利用者制限の緩和、運行日の拡大等を行い充実に努めます。
- 3 福祉活動の拡充に伴い、活動を支えるボランティアの育成に全力を挙げます。地元社協及び民生委員と連携し、老人クラブをはじめ、元気なシニア世代への呼びかけに力を注ぎます。
- 4 地域と学校と保護者が一体となって、子どもたちの健全育成に取り組みます。一中学区青少年育成協議会との連携、コミュニティスクール（CS：学校運営協議会制度）等を通して、地域の教育力向上に努めます。また新潟市内で最も多数の防災士を抱えるコミ協として学校においての防災教育にも今まで通り力を注ぎます。
- 5 大きな災害から地区住民の生命を守る為、避難所運営などで自主防災会との連携を深めていきます。
- 6 事務局の強化と充実を図るため、今年も局員2名体制を維持します。各部会、利用団体の活動を支えていくとともに、小林地域生活センターが地域の皆様にとって快適な場所になるよう設備、備品等の充実にも力を注ぎます。

新型コロナウィルス感染症は通常対応になりましたが、ウイルスは消えたわけではありませんので、引き続き対策には留意しつつ、5つの村作り理念を更に大きく、高く掲げ前進していきます。総会資料より抜粋

令和6年度 小林コミュニティ協議会役員と自治会長協議会の紹介

小林コミュニティ協議会

| 小林コミュニティ協議会 | 会長 | 副会長 | 部会名 | 部会長 | 副部会長 |
|-------------|------------|-----------------|----------|-------|-------|
| | 真保 慶一 | 青木 智子 | | | |
| | 久保 安夫 | | | | |
| | 監事 | | | | |
| | 阿部 信哉 | 山崎 新一 | | | |
| 部会名 | 部会長 | 副部会長 | 部会名 | 部会長 | 副部会長 |
| | 総務部 小林 謙 | 泉 美智子 | 文化・スポーツ部 | 森山 勝広 | 三富 敦 |
| | | 泉 幸子 | 環境部 | 久保 安夫 | 高橋由紀子 |
| | 健康福祉部 西村 茂 | 渡邊 明美 | 安心・安全部 | 石田由紀夫 | 飯田 幸登 |
| | | お助け隊隊長 佐久間栄子 | | | 柏 雄一 |
| | | | 自主防災会 | 谷川 一義 | 大旗裕一郎 |
| | | | | | 細貝 洋一 |
| | | | 学童保育部 | 大旗 英之 | 星野 美帆 |
| | | | 青少年育成協議会 | 西村 祐一 | 山岸理恵子 |
| | | | 小林新撰組 | 大旗裕一郎 | 周佐 亜紀 |
| | | | | | 丸山 浩司 |

小林自治会長協議会

| | | | | | | | | | |
|-----|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|
| 行政区 | 戸頭 | 戸頭団地 | 田中 | ○浦梨 | 和泉 | 美咲町 | 皐月町 | 鍋潟 | ○下木山 |
| 氏名 | 谷川 一義 | 渡辺 洋一 | 新井田 治 | 森山 勝広 | 小林 謙 | 石田由紀夫 | 鈴木 皓旦 | 西村 正秋 | 大旗 英之 |
| 行政区 | 上木山 | 蔵主 | 平潟新田 | 平潟 | 万年 | 櫛笥 | 田尾 | 鼠新田 | ○会長 |
| 氏名 | 阿部 政志 | 藤宮 藤栄 | 高井 寛 | 須田 克博 | 泉 忠博 | 氷見 正樹 | 小林 一巳 | 西村 和彦 | ○副会長 |

スプリングコンサート 4月7日（日）

「ひなまつりコンサート」から「スプリングコンサート」に名前を変えて、白根学習館内ラスペックホールで開催されました。出演はアンサンブル・オビリー。

観客は、クラシックの名曲をはじめ、懐かしのメロディーや子ども向けアニソンメドレーなど多彩な曲で楽しんでいました。チェロ奏者である、片野氏の演奏曲にまつわる解説や身近な面白トークが加わり、弦楽四重奏の美しい音色を堪能したひとときでした。



環境美化活動 マラソンコースクリーン作戦 4月21日（日）

各自治会から沢山の方に参加していただきました。毎年行っていますが、今回も大きなゴミや空き缶、たばこの吸い殻などが落ちており、参加者からキレイに拾っていただきました。ご協力ありがとうございました。



環境美化活動 地域生活センター花壇への植栽 6月2日（日）

コミ協環境部員で、花壇やプランターに「日日草」と例年以上に沢山の「アサガオ」を植栽しました。来館された方に楽しんでもらえるように、バランスを考え、配置を工夫しました。



小林地区防災訓練 6月15日（土）

小林小学校で引き渡し訓練のある日に合わせて、防災訓練を行いました。主要な取り組みは①各自治会単位での避難訓練②避難行動要支援者の安否確認③子ども達の引き渡し訓練④防災劇の観覧でした。

日頃から非常時の備えや支援が必要なご近所の住民に対して、助け合いの体制が出来るかどうか。まだまだ課題がありますが、住み良い小林地区を目指して改善して参りましょう。



ひまわり植栽事業 6月16日（日）

小林みどり会との共催で、カルチャーセンター前の道路脇にひまわりの植栽を行いました。自治会からも参加していただき、沢山の苗を植えました。一面ひまわりでいっぱいになるのが、とても楽しみです。



小林地区市民運動会 6月23日（日）

当日は、雨模様の天候でしたが、多くの参加者が集い、白熱した競技を繰り広げられました。

毎年恒例の「リレー」や「玉入れ」、新種目の「ねらってねらって」等で盛り上がり、とても楽しい時間を過ごしました。長く開催を重ねて地域の交流の場となり、思い出を作ってきたこの大会が最後となります。

小林地域の交流の場は必要であり、今後新たな企画が期待されます。



総合優勝 韶月町
玉入れ優勝 韶月町

準優勝 平潟
準優勝 平潟

3位 万年

3位 戸頭上・万年

アークベル県民アマチュア絵画展 『新潟テレビ21賞』入賞おめでとうございます



洋画部門「エイミーランド」青木 智子さん

大好きな猫たちをいつも描いています。家の窓から見える田んぼや夕焼けは、それはそれは素晴らしい風景です。大好きな風景と愛おしい猫たちを描いていきます。

はからう体重！あるこう南区！大作戦



- 30日分の体重または歩数をはからって記録カードに記入しましょう！
健康づくりのきっかけに！
- 小林地区にお住まいの方で、小林地域生活センターに記録カードを提出された方の中から抽選でステキな景品が当たります。

提出先：小林地域生活センター 締め切り：12月27日（金）
記録カード配布場所：各地域生活センター、南区役所健康福祉課、白根健康福祉センター
南区ホームページからもダウンロード可能

多世代の支え合い 助け合う村 小林 をめざして お助け隊こばやし

■ “お助け隊こばやし” の活動

生活の手助けを必要とされる方へお助け隊スタッフがお手伝いを行います

■ 対象者

生活の手助けを必要とされる方、お車の運転が難しい方、免許返納された方 等

■ お手伝い内容

草取り、買い物代行、日常のゴミ出し、お話相手、家具の移動

買い物・病院の送迎 等

■ 利用料金 1回の作業に500円（基本）を頂戴いたします

■ 活動日時

基本的に平日の日中で、時間はご相談ください

※ご希望日の2日前までにご連絡ください



申込み・問い合わせ先

小林コミュニティ協議会事務局（小林地域生活センター内）

TEL 025-372-3033 平日：午前9時～午後5時まで

今後の予定

- 9月27日（金） 健康ますます元気になります隊セミナー① 会場：小林地域生活センター
- 10月 6日（日） 健康ますます元気になります隊セミナー② 会場：小林地域生活センター
- 10月20日（日） 小林地区敬老会 会場：小林小学校
- 11月 2日（日） 小林地区文化祭 会場：小林小学校

※いずれも詳細については、チラシ等でご案内します



— 金婚のお祝い品の申請について —

小林コミ協では、敬老会で金婚の御祝品をお渡します。

昭和49年4月～昭和50年3月に結婚され、金婚式を迎える方がいらっしゃいましたら、9月2日(月)までに各自治会長または、小林地域生活センターへご連絡をお願いいたします。

小林地域生活センター 372-3033



コミ協の事業の
様子や情報を
発信しています

編集後記

機能性表示商品において健康被害が発生したことは記憶に新しい。テレビなどで紹介される健康食品は、あまりに数多く、過熱している。そのうたい文句に躍らされて購入する人も多いと聞く。ひと口に健康食品と言ってもその分類は様々であり、理解しづらい。そこに食品衛生法上の製造者責任と利用者責任が絡む。

利用者は十分な理解をした上で利用したいものです。安心して使うため、かかりつけ医師や調剤薬局など専門の方に相談することをおすすめします。

総務部